

平成23年度 第2回CCC体育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成23年5月27日(金)12:30～ 14:30

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 : 石塚委員 田附委員

(事務局)井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 現在検討中の学士力を実現するための授業モデルについて、以下のポイントが確認された。

- ① 中学校及び高校の総合的な学習の中で、問題解決的な活動が発展的に繰り返される探求的な学習、他者と共同して課題を解決する協同的な学習、体験活動の重視の新しい学びを身につけた授業を24年度から実施。
- ② 5年先の視点として、未知の時代を生き抜く能力を提供できる教育を目指し、暗記型の学習でなく、学習した知識が卒業時点で発揮できるような教育の仕組みを提案する。
- ③ 未知の時代を生き抜くことを念頭にグループ学習、コラボ学習、プロジェクト学習などを取り入れ、一人の教員から教わる学習だけでなく、世界中の学識ある人から教わるのが生涯学習となる。
- ④ 自己や社会と関連付けをしながら学士力を身に付け、社会で通用する力を身に付けさせる。などと、ポイントを確認し、到達目標3と到達目標2について検討し、編集作業を行った。

<授業モデル案1>

- ・ 卒業時点で学習の成果が達成していることを可能にする授業づくり。
- ・ 情報推進技術や科学的な解析力は他の授業で培わなければならないため、他の授業と連携する必要がある。
- ・ ポイントフォーリオを使い、学生自ら運動させる中で、コーチング力を身につけさせる。(改善や工夫し、競技力を身につけさせる)
- ・ 取り扱うデータは肖像権、個人情報保護法の立場からセキュリティを万全にしておく。公開できるデータについては、教員コンソーシアムを作り、大学間、社会で使える環境を作る必要がある。
- ・ 学習管理をするファシリテーターの確保。

<授業モデル案2>

- ・ 社会人基礎力を身に付けさせる。社会へ出たときにへこたれないための心身コントロールをできるようにする。
- ・ 身体運動の効果を自分で体験し(新しい競技をすることで一体感を持たせ、コミュニケーション能力を培う)運動することの重要性を他者にも説明できるようにする。

- ・ ポータルサイトで生活のサイクルを自分で作らせ、コントロールできるようにする。
TA、スクールカウンセラーなどに参加してもらい、学習のポートフォリオをファシリテートできる仕組み。
- ・ データの解析。ポートフォリオをLMSで公表することで、学生同士で見合い、意識付けができる。

2. 次回までの宿題

6月半ばまでに授業モデル案を作成する。

V. 次回の開催日程

日時：6月下旬から7月で開催(メーカーリングリストにて調整)

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室